

# 小平市議会定例会 代表質問通告書

質問件名 公共施設マネジメントを好機に小平らしい学校教育の推進を

## 質問要旨

市の公共施設は高度経済成長期に数多く整備され、老朽化と今後の人口減少に対応するために、小平市公共施設マネジメント推進計画により施設の更新、統合、複合化などがすすめられています。市の公共施設の6割を占める小・中学校は公共施設マネジメント計画推進の大きな位置づけとなっています。現在では小平第十一小学校の複合化、小平第十三小学校の更新計画が動き出そうとしています。

一方で、社会情勢に目を向けると、2020年初めから拡大している新型コロナウイルス感染症は収束しておらず、人との身体的な距離をとるなどの「新しい生活様式」の実践や、公立小学校における35人学級の導入が閣議決定され、2021年度から5年かけて1クラスあたり35人へ引き下げること、ICTの導入など教育環境も変化していきます。これらの変化に対応していくことや学校施設の更新は、インクルーシブ教育を推進する好機と生活者ネットワークは捉えています。

しかし、高齢化に伴い民生費が増えていく中、公共施設の更新による公債費の増加、新型コロナウイルス拡大に伴う経済の落ち込みからくる税収減が予測され、市の財政運営は難しい舵取りをしていくこととなります。

2021年度は公共施設マネジメント推進計画の中間見直しの時期となります。これから公共施設マネジメントをすすめるにあたり、学校教育のあり方を推進計画にどう反映させていくかについて以下質問をします。

- ① コロナ禍による景気の悪化、税収減が見込まれる中で公共施設マネジメントをすすめていくこととなりますが、財政計画の見通しをどう立てていきますか。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策のため「新しい生活様式・3密対策」が謳われていますが、今後の公共施設マネジメント推進計画にどう影響していくと考えていますか。
- ③ 近年小平市は人口が増加傾向にあります。コロナ禍によるテレワークの推進は、これからの人口動態にどう影響してくると考えていますか。
- ④ 学校施設について、更新後、長期間使用することになる教室の設計や配置は今後の学校教育に大きく影響します。今後の学校の統廃合や複合化について以下教育委員会に質問します。
  1. 「小平市教育振興基本計画」の基本理念の実現にあたり、学校教育の方向性についてどのようなビジョンを描いていますか。
  2. 公立小学校の35人学級が閣議決定されました。2021年から5年の間に35人学級を進めていくこととなりますが、教育委員会としてどのように推進していきますか。
  3. 学校施設の更新(統廃合、複合化)にあたってバリアフリー化やインクルーシブ教育をどのように推進していくのか教育委員会の見解は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和3年2月9日 小平市議会議長 殿

会 派 名 生活者ネットワーク 受付番号【           】—(       /       )

代表質問議員氏名 山崎 とも子 整理番号(通しNo.)… …(                   )